

マスコミでみるURCの今 - 最近1ヶ月の情報を中心に -

新聞

- 2013.3.31 **西日本新聞 朝刊 24p**
福岡城跡「大河」機に活用探る 市民討論会 復元や観光対策 要望
当研究所が構成団体の一つを務める「福岡城・鴻臚館の将来を市民と考える実行委員会」主催の「市民討論会 軍師官兵衛がつくる福岡城」の開催報告 印以下同じ
- 2013.3.31 **読売新聞 朝刊 37p**
福岡城跡活用へ 市民討論 官兵衛築城の経緯も探る
- 2013.3.28 **河北新報 朝刊 27p**
十和田市現代美術館企画展/超訳 びじゅつの学校<副館長 藤浩志>
市民研究員OB藤浩志さんが副館長を務めるイベント案内 印以下同じ
- 2013.3.27 **西日本新聞 朝刊 3p**
ひと 西南学院大教授に就任する前国連ハビタット福岡本部長 野田順康さん
野田順康さんは4月1日から当研究所顧問となる 印以下同じ
- 2013.3.26 **信濃毎日新聞 朝刊 22p**
茅野市の「部活動」一同に「博覧会」14団体が出展 食や映画・・・学園祭の雰囲気
市民研究員OB藤浩志さんが街中に「部室」をつくる活動を全国で展開
- 2013.3.23 **朝日新聞 朝刊 13p**
西南学院大教授 野田順康氏が就任 前国連ハビタット福岡本部長
- 2013.3.23 **西日本新聞 朝刊 36p**
前国連ハビタット福岡本部長が西南学院大教授に
- 2013.3.21 **神戸新聞地方版 25p**
おもちゃを物々交換 川西に常設コーナー
市民研究員OB藤浩志さんが2000年から始めた「かえっこバザール」が開催される。 印以下同じ
- 2013.3.19 **東奥日報 朝刊 17p**
十和田/十和田湖・奥入瀬地区「アートプロジェクト」多彩な時間 体験して 現代美術館が構想披露
- 2013.3.16 **東奥日報 朝刊 24p**
告知板/十和田 きょうアート関連講座
- 2013.3.13 **大阪読売新聞 朝刊 33p**
不用おもちゃ集めて巨大恐竜 川西で20日 イベント
市民研究員OB藤浩志さんが講演を行なう。
- 2013.3.10 **静岡新聞 朝刊 33p**
「地域を変えるソフトパワー」(藤浩志,AAFネットワーク著) - 試される美術の持つ力(北川フラム/アートディレクター) 市民研究員OB藤浩志さんの著者が紹介される。

雑誌

- 2013.4.1 **ふくおか経済 4月号 5p**
戦略や指針飛び交う「提言の春」識者来福のシンポ、セミナーが集中開催
福岡アジア都市研究所 福岡市を「オープンデータ」先進都市に 平成24年度第6回都市セミナーが紹介される。
- 2013.4.1 **ふくおか経済 4月号 13~14p**
企業の社会貢献活動最前線 社会性の追及が企業を伸ばす - NPOと手を結ぶ企業
企業本来の「社会性」の気付きから生まれる地域貢献と経営/NPO交流・ソーシャルビジネス特別委員会
委員長をはじめとした市民研究員OB吉原勝己さんの活動が紹介される。
- 2013.4.1 **ふくおか経済 4月号 40~41p**
福岡市を「オープンデータ」先進都市に 福岡アジア都市研究所 4市で推進組織設立
当研究所梶原信一常務理事が「オープンデータ」や「スタートアップ」など福岡市の活性化につながる研究への意欲を示す。

所員雑感「～URC勤続25周年を迎えて～韓国・釜山の旅」1 訪釜準備 山崎三枝

韓国語弁論大会で姉妹都市委員会賞をいただき、副賞に釜山往復航空券と希望があればホームステイも出来る権利を獲得し、いよいよ行動計画を出す前日、釜山で「釜山発展研究院に行つて、2007年ほぼ1年間URCで客員研究員をされた琴先生に会い、資料室で李さんに会い、資料室相互の絆を確かめる」こと以上の希望が思い浮かばない(職業病?) 私は弁論原稿の冒頭に出てくる「冬ソナ以来、バリバリの韓流になった」友人の一人に相談し、アドバイスに従って次のことを決めました。

それは、1.機張で蟹を食べる。2.泊まりは西面のエンゼルホテル 3.買い物は釜山の農協で、ついでに釜田市場を見学する。4.ロッテデパートの周りの屋台、あわびのおかゆはMUST 5. ナッチボクもMUST 6. 梵魚寺、竜宮寺に行くこと 7.一人で食事をするときは、ロッテデパート上のレストランで 8.免税店では某クレジットカードを使うこと、の8つでした。一方、釜山発展研究院の琴さんとは何とか連絡が取れ、準備は万全!あとは、「ホームステイ先がどんな家族か」だけが不安でした。(以下 次号に続く)